



早期の火災安全ファクトシート



火災に備える

準備と予防は、安全な生活環境にとって重要です。すべての家庭と託児所は、火災避難計画を作成する必要があります。職場では、労働安全衛生法により、すべての事業と組織が火災避難計画を作成して定期的にテストすることが義務付けられていますが、自宅ではこれを家族が実行しなければなりません。

家族が以下のことを知っていることを確認してください

- 煙の下を這って進む方法
- 各部屋と家を出るための異なる方法
- ドアと窓の鍵をあける方法
- 消防署（000）に電話する方法
- 外で集まる場所（例、郵便受け）
- 訓練が重要です - 毎月行う必要があります

火災に備える

- 作動している火災警報器のみが命を救います。火災警報器に埃が付かないようにし、夏時間の終わりに電池を取り替えてください。
- 毎週火災警報器をテストし、毎月掃除してください。
- 5歳未満の子供には、いつも火災探知機が聞こえるわけではありません。
- 台所に防火用毛布および/または消火器を備えて、使い方を覚えておいてください。
- 防火用毛布と消火器は、台所で家事が発生しやすい場所と出口の間に置いてください。
- 電気安全スイッチを登録済みの電気技術者に設置してもらいます。
- 家族と火災避難計画を作成して、定期的に訓練してください。

いいニュースがあります…

親または保護者として、やけどや火災に注意し、それらを予防するための措置を講じることにより、小さい子供の環境をより安全にすることができます。子供は、役割モデルとして親の行動を見習うので、むき出しの火の前にスクリーンを置くなど、安全な措置をとることを見せてください。

ただし、覚えておいてください…5歳未満の子供は、火から必ずしも逃げるわけではなく、緊急時に何をすべきか理解できません。親と保護者は、自宅からの火災避難計画を作成するときにこのことを認識しておく必要があります。



Country Fire Authority (CFA) と Metropolitan Fire and Emergency Services Board (MFB) は、皆様が適切な注意を払って使用することを前提として、この情報と資料を提供しています。特定の状況に対して、この情報の応用方法が確かなでない場合は、さらに専門的なアドバイスを求める必要があります。CFA と MFB は、提供されている情報の応用、解釈またはは依存方法について、一切責任を負いません。CFA と MFB は、意図しない不正確さ、間違い、省略またははその他の原因に関わらず、この情報の使用によって発生するいかなる損失または損害に対する責任を負いません。

詳細情報については、以下まで連絡してください。



www.cfa.vic.gov.au



www.mfb.vic.gov.au

